

社協だより

# 社協だより



2015.7.1  
No. 82号

平成26年度 事業報告及び収支決算報告  
平成27年度 事業計画及び収支予算  
その他

本誌は赤い羽根共同募金の配分金で発行されています。



生きがいサービス（いちご狩り 6月18日）



昼食には手打ちそばと山菜の天ぷらをいただきました。



甘くて美味しいイチゴを堪能しました。

編集発行：社会福祉法人 増毛町社会福祉協議会

〒077-0224 増毛郡増毛町南島中町2丁目27番地の1  
増毛町老人福祉センター内  
☎ 0164-53-3600 FAX 0164-53-3602

印刷：有限会社 弘版 〒077-0215 増毛郡増毛町暑寒町3丁目114番地 ☎ 0164-53-2459

# 会長就任にあたり

増毛町社会福祉協議会

会長 雨野正治



六月、別荘恵比須神社例大祭の賑が大きく揺れて、いよいよ「増毛夏祭」の幕も上がり、一番過ぎしやすい季節を迎えましたが皆様には如何お過ごしでしょうか。  
ご勇退された岩永会長の後、三月、その任を引き継がせて頂くこととなりました。

これからも、歴代会長をはじめ会員、町民皆様のご理解とご支援により築かれてきた協議会の運営と活動を停滞させることなく、福祉の基本理念である「ノーマライゼーション」（高齢者や障がい者が他の人々とともに暮らす社会）の具現化の一助となるよう、事業運営に努めて参りたいと思っておりますので、協議会へのご理解をお願い申し上げます。

さて、全道の新任会長の研修会に出席をして、忘れかけていた「ことば」に巡り合うことが出来ました。

一つは『地域とは、人のつながり』かつては、自然に生まれていた繋がりは、これからは「意識的に仕掛けて」生み出していかなければならない。そうしなければ、地域、つまり隣近所の繋がりがさえも消滅していくことになりかねないと言ったことでした。

もう一つは『支え合いは、お互い様のこと』人が、明確な支えを必要としないで生きられるのは、人生の中でもごく限られた期間。それ以前も、それ以降も、支えがあつて生きられている。

私は、二つのことばから協議会の仕事は「お陰様づくり」ではないかと理解しました。少子化、高齢化、近所付き合いの希薄化など、「おはよう」の挨拶すら時々しか交わすことのない生活環境が定着しつつありますが、何処かで誰かに支えられているのだとしたら、その感謝の気持ちを「ありがとう」と声に出して伝える、これが「お陰様づくり」だと思っております。ですから、より多くの方々と手を繋いで「お陰様づくり」の輪を広げて行くことが、私たち協議会の役目ではないかと。

これからも微力ではありますが、「お陰様、ありがとうございます、よかったです」と言ってもらえるような活動をして参りますので、町民皆様のより一層のご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶と致します。

## 福祉団体役員

4月の総会において、次のとおり役員が改選になりました。

### 増毛町すみれ会

(任期H27年4月1日～H29年3月31日)

会長 三浦澄江  
副会長 小野寺房子  
監事 米田ナミ  
" 山崎慶子



### 増毛町身体障害者福祉協会

(任期H27年4月1日～H29年3月31日)

会長 五日市忠二  
副会長 青山律子  
" 北川一男  
監事 佐藤吉男  
" 宿波菊太郎  
理事 菊池妙子  
" 工藤久子  
" 坂本敏子  
" 宮本宏子  
" 山本健二

### 老人クラブ連合会

(任期H27年4月1日～H29年3月31日)

会長 下田君男  
副会長 毛利壽和子  
副会長 坂本幸一夫  
理事 花田藤一七能  
" 後河邑藤和英  
" 後河邑藤英信  
" 佐藤橋弘  
" 三齋藤末太郎  
" 齋藤野キ

# 平成二十六年 事業報告

## ■会議関係

『正副会長会議の開催』

26年4月25日 第1回

26年9月18日 第2回

27年2月27日 第3回

『理事会の開催』

26年5月16日 第1回・第2回

27年3月24日 第3回・第4回

『評議員会の開催』

26年5月16日 第1回

27年3月24日 第2回

『監事監査の実施』

26年4月14日 本会監事監査

7月16日

10月20日

27年1月19日

26年5月27日 増毛町監査委員による財政的援助団体監査

26年12月12日 留萌振興局運営指導監査

## ■各種会議・研修会関係

○留萌地区市町村社協連絡協議会理事会

○日常生活自立支援研修会

○上川・宗谷・留萌地区事務所自立支援員懇談会

○「安心・安全・福祉のまちづくり」

## くりー

○社会福祉法人新会計基準説明会

○留萌地区管内巡回支援

○留萌地区地域福祉生活支援員研修会

○第二回市町村社協会長・事務局長会議

○社会福祉協議会向け新会計基準研修会

○全道市町村社協事務局長連絡会議

○第三回市町村社協会長・事務局局長会議

○庶務関係

○5月21日 資産変更の登記

○基盤整備と活動の強化

○自主財源確保のため新会員の加入促進につとめ前年度より会員数が増加した

○本会事業推進のため28件の寄付があった。

○在宅福祉活動の総合的推進

○除雪サービス事業を増毛町から受託。

要支援者への生活援助活動を展開した。

申請者83名。実施者数73名のべ107回。

○おせち料理サービス事業を展開した。実施者数71名。

○心身障がい者福祉活動の推進

○身体障がい者の福祉推進のため交通費の助成援助した。

○手をつなぐ親の会、身体障がい者福祉協会へ助成援助した。

○高齢者福祉活動の推進

○12月6日「ふれあい広場2014ましけ」を開催

○暑寒大学、町民スクール、三代交流事業、増毛町老人クラブ連合会へ助成援助した。

○戦没者遺族福祉の推進

○増毛町遺族会へ助成援助した。

○増毛町母子・寡婦福祉の推進

○増毛町母子すみれ会へ助成援助した。

○地域福祉活動の推進

○民生委員協議会・保護司会・子育て連・青少年健全育成推進協議会へ助成した。

○低所得者福祉活動の推進

○総合支援資金の借り入れ相談4件。貸付0件

○共同募金運動の推進

○赤い羽根、歳末たすけあい募金ともに各自治会並びに篤志者の協力を得ることができ、好成績をおさめることができた。

○イベント(えび・地酒祭り・秋味祭り)

○ふれあいのまちづくりの推進

○ボランティアセンター活動強化のため助成援助した。

○児童・生徒のボランティア活動普及事業奨励のため、町内全小中5校に対し助成援助した。

○独居高齢者宅の窓のピニール張り事業をした。

○広報活動の推進

○社協だよりを発刊(年2回)。社協活動の啓発を図った。

○その他

○老人クラブ・遺族会・母子会・身障協会・共同募金委員会・ボランティアセンターの事務局業務。

進協議会へ助成した。

○低所得者福祉活動の推進

○総合支援資金の借り入れ相談4件。貸付0件

○共同募金運動の推進

○赤い羽根、歳末たすけあい募金ともに各自治会並びに篤志者の協力を得ることができ、好成績をおさめることができた。

○イベント(えび・地酒祭り・秋味祭り)

○ふれあいのまちづくりの推進

○ボランティアセンター活動強化のため助成援助した。

○児童・生徒のボランティア活動普及事業奨励のため、町内全小中5校に対し助成援助した。

○独居高齢者宅の窓のピニール張り事業をした。

○広報活動の推進

○社協だよりを発刊(年2回)。社協活動の啓発を図った。

○その他

○老人クラブ・遺族会・母子会・身障協会・共同募金委員会・ボランティアセンターの事務局業務。



6月22日

増毛町ボランティアセンター  
忠魂碑周辺の草刈作業



# 社会福祉法人 増毛町社会福祉協議会 平成26年度 収支決算報告

## (収入の部)

(単位:円)

科 目	予算額(A)	決算額(B)	増減(B-A)	備 考
一般会費	50,000	58,000	8,000	116名
特別会費	450,000	536,000	86,000	268名
賛助会費	800,000	720,000	△80,000	12個人、60法人・団体
町補助金	8,500,000	8,500,000	0	増毛町補助金
道社協補助金	92,000	89,000	△3,000	貸付事務費
特別会計事業助成金	6,000	5,000	△1,000	福祉基金事業助成金
共同募金配分金	2,480,000	2,431,980	△48,020	共同募金配分金
寄附金	1,575,000	1,455,229	△119,771	
委託金収入	2,922,000	2,850,666	△71,334	除雪サービス・生きがいサービス事業委託料
繰入金	3,388,000	3,387,200	△800	基金繰入金
諸収入	103,000	59,550	△43,450	ボランティア保険事務費配分金等
前年度繰越金	377,569	377,569	0	
合 計	20,743,569	20,470,194	△273,375	

## (支出の部)

(単位:円)

科 目	予算額(A)	決算額(B)	増減(B-A)	備 考
給料及び諸手当	8,981,704	8,980,704	△1,000	職員3名
共 済 費	1,022,105	1,022,105	0	各種保険料他
旅 費	263,000	187,840	△75,160	役職員旅費・実費弁償
需 用 費	1,498,000	1,373,225	△124,775	施設管理・消耗品・通信・保険料・租税公課 賃借料・車両燃料代
会 務 運 営 費	30,000	13,650	△16,350	会議費・渉外費
広 報 活 動 費	215,000	212,760	△2,240	社協だより印刷費
援 護 費	10,000	0	△10,000	
高 齢 者 福 祉 費	530,000	529,799	△201	ふれあい広場・三世代交流事業
心身障がい者福祉費	420,000	420,000	0	身体障がい者福祉協会 手をつなぐ親の会・障がい者ハイヤー助成
生きがいサービス事業費	2,011,863	2,011,863	0	人件費・需用費
地 域 福 祉 活 動 費	2,925,000	2,902,320	△22,680	ボランティアセンター運営費(町内学 校助成費・ふれあい郵便・ピニール張り 事業)・青少年健全育成推進協議会・ 子供会育成連絡協議会・増毛町老人 クラブ連合会・母子すみれ会・遺族会
在 宅 福 祉 推 進 費	1,200,000	1,124,402	△75,598	除雪サービス
福 祉 活 動 推 進 費	225,000	225,000	0	暑寒大学・民生委員協議会 町民スクール・保護司会
貸 付 事 業 費	92,000	42,000	△50,000	実費弁償・事務費
繰 出 金	1,000	0	△1,000	
積 立 金	710,000	698,880	△11,120	
負 担 金	259,000	256,500	△2,500	各種負担金
慶 弔 費	10,000	5,000	△5,000	
雑 支 出	20,000	15,400	△4,600	年賀広告他
予 備 費	319,897	0	△319,897	
合 計	20,743,569	20,021,448	△722,121	

収入計 20,743,569円 - 支出計 20,021,448円 = 残額 448,746円

社会福祉法人  
増毛町社会福祉協議会

# 平成27年度 事業計画

## 1. 社会福祉協議会の基盤整備と活動の強化

事業区分	具体的事業	事業の概要
1. 会務の運営	1) 正副会長会議の開催 2) 理事会・評議員会の開催 3) 監査の実施 4) 部会・委員会の開催 5) 各団体の事務局	必要に応じて随時開催 年3回 監事監査の実施(四半期毎) 各種事業について総合的に検討する専門委員会の開催 共同募金委員会・ボランティアセンター運営委員会・身体障がい者福祉協会、母子会、遺族会、老人クラブ連合会
2. 基盤整備と活動の強化	1) 会員会費制度の充実 2) 事業推進財源の確保 3) チャリティ事業の実施(協賛) 4) 日常自立支援事業の実施  5) 新会計システムの移行  6) 相談窓口の実施と普及 7) 防犯ボランティア組織の構築と準備 8) 福祉厚生課及び民生委員・児童委員協議会との定期懇談会の実施	社協の組織をPRし、会員会費制度の普及と新会員の加入促進 財源の確保のため事業の見直しにより、地域福祉の向上を図る。 社協PRを含めた町民参加を図り、財源の確保に努める。 利用者の安全確保の面から地域に密着している社協が受託し増進と福祉の促進に努める。 自主的経営基盤の強化を図るとともに、提供するサービスの質の向上及び事業経営の透明性の確保を図る。 地域住民の利便を考慮し、福祉関係のいかなる相談も、関係機関につなぐ防犯ボランティア活動の受援側・支援側双方の連携する体制を構築するため、道社協・管内市町村との協定等の準備 年間各々2回の懇談会を実施し、福祉課題の共有と実態状況の把握を図り、福祉の促進に努める。

## 2. 在宅福祉サービスの総合的・実践的推進

事業区分	具体的事業	事業の概要
1. 在宅福祉活動の推進	1) 除雪サービスの実施 2) 除雪機の貸出し	増毛町からの受託事業、在宅福祉の一翼を担う。 高齢者世帯向け除雪機貸出し、在宅福祉活動の向上を図る。
2. 心身障がい者福祉活動の推進	1) 身体障がい者福祉協会、手をつなぐ親の会への助成 2) 身体障がい者への交通費助成 3) 心身障がい者福祉事業の調査研究	身体障がい者運営活動の支援、手をつなぐ親の会への助成援助  ハイヤーチケット助成事業の実施。 手をつなぐ親の会と共同で心身障がい者福祉事業の調査研究
3. 高齢者福祉活動の推進	1) ふれあい広場の開催 2) 生きがいディサービス事業の実施 3) 生きがいディサービスの出前実践 4) 老人クラブ連合会への助成援助 5) 三世代交流事業への助成援助 6) 暑寒大学へ助成援助 7) 生活支援サービス企画・準備 8) 認知症サポーターの普及 9) 高齢者向け食事会の実施	高齢者と子供達の交流を通じて、ふれあい運動の実践に務める。 増毛町からの受託事業、高齢者福祉対策の一翼を担う。 利用者の拡大と認知予防を目的とした各老人クラブに出前サービス実施。 連合会運営活動の支援・単位老人クラブに対する助成援助。 舎熊小学校、暑寒大学 急速な社会ニーズに適用する教養と生活技術の研修を図る。 高齢者事業団の設立を企画、地域を支える力の一層充実を図る。 増毛町と協賛し認知症サポーターを養成する講習会を実施、誰もが暮らしやすい地域づくりを目指す。 独居高齢者、高齢者のみ世帯を主体に孤立の解消と居場所(サロンの)の提供をし、高齢者福祉の促進を図る。
4. 低所得者福祉活動の推進	1) 生活福祉資金貸付事業の効果的推進 2) 被災世帯への援護	低所得者、身体障がい者、高齢者、離職者の自立更生と生活の安定を図る 火災等の被災世帯に対し、見舞金を贈る
5. 共同募金運動の推進	1) 共同募金運動への協力、配分事業の実施	街頭募金、地域募金等、イベント募金の実施。 共同募金運動による配分事業の実施・赤い羽根共同募金配分事業 除雪サービス、ふれあい広場、社協だより、三世代交流 ・歳末たすけあい募金配分事業 低所得者家庭、知的障がい者家庭、母子・父子家庭、高齢者家庭等の支援、おせち料理サービス事業
6. 各団体への助成援助	1) 母子会、遺族会、町民スクールへの助成援助	母子会、遺族会運営活動の支援、町民スクールに対する助成援助の実施。

## 3. ふれあいのまちづくり推進～ボランティアセンターの充実・強化と福祉教育の推進

事業区分	具体的事業	事業の概要
1. ボランティアセンター機能の充実	1) ボランティアセンターへの助成 2) 独居老人宅窓のビニール張り事業の実施 3) 生きがいディサービス事業への協力 4) ボランティア登録制度の普及と育成、活動支援	ボランティアセンター運営活動の支援生活環境の改善を図る 参加者相互の交流、会話等の援助 活動の普及拡大と積極的な参加支援に努め、地域住民のボランティアに対する需要と供給を把握し、調整する。 婦人ボランティアの育成援助
2. 福祉教育の推進	1) 児童・生徒のボランティア活動の推進 2) ふれあい郵便事業への助成援助 3) 車イス体験講習会	児童・生徒のボランティア活動の育成援助を進め、福祉教育を推進する。 ・舎熊小学校・増毛小学校・増毛中学校 高齢者の一人暮らしの孤独感を全校児童生徒からのお便りにより心のケアを図る。 増毛町と協賛し、車イスを使った体験講習会を企画・実施。
3. 児童、青少年対策の推進	1) 子ども会育成事業の援助 2) 青少年健全育成事業の援助	子ども会育成連絡協議会に対し助成援助する。 青少年健全育成推進協議会に対し助成援助する。

## 4. 各種研修事業への積極的参加

事業区分	具体的事業	事業の概要
1. 各種研修会への参加	1) 各種研修会への参加	社協役員並びに希望者に対し積極的な参加を促し、福祉人材確保と資質の向上に努める。
2. 研修会の企画実施	1) ボランティア研修会の実施	ボランティア活動の役割

## 5. 広報活動の推進

事業区分	具体的事業	事業の概要
1. 広報活動の推進	1) 社協だよりの発行 2) 町広報の活用	社協だよりの発行（年2回） 町広報及び防災無線の活用

社会福祉法人  
増毛町社会福祉協議会

## 平成27年度 資金収支予算書

(単位:円)

科目	本年度予算	説明
一般会員収入	55,000	町民の皆様から納入していただいている会費。
特別会員収入	510,000	
賛助会員収入	650,000	
寄附金収入	1,459,000	社協への善意の寄附金
町補助金収入	7,891,000	増毛町からの補助金
道社協補助金収入	92,000	北海道社会福祉協議会からの助成金
共同募金配分金収入	2,480,000	共同募金からの助成金
町受託金収入	2,892,000	町からの委託事業費（除雪・生きがいディサービス）
道社協受託金収入	30,000	日常生活自立支援事業委託料
受取利息配当金収入	7,000	福祉基金特別会計からの助成金
その他の収入	93,000	雑収入
<b>収入計(1)</b>	<b>16,159,000</b>	
職員給料支出	6,868,000	職員3名・臨時職員1名
法定福利費支出	1,112,000	職員3名・臨時職員1名 各種保険金他
事業費支出	578,000	車輦費・消耗品費・手数料・災害見舞金
事務費支出	2,147,000	福利厚生費・旅費交通費・研修研究費・事務消耗品費 通信運搬費・会議費・広報費・業務委託費・保険料 賃貸料・租税公課・保守料・渉外費・諸会費・雑費
一般募金配分金支出	1,916,000	ふれあい広場費・三世代交流費・在宅福祉活動費・福祉推進対策費
歳末たすけあい配分金支出	1,600,000	低所得者援護
助成金支出	1,357,000	心身障がい者福祉費・児童福祉活動支援費・老人福祉活動支援費 ・母子・寡婦福祉活動支援費・ボランティア育成費・遺族援護費・社会福祉推進費
<b>支出計(2)</b>	<b>15,578,000</b>	
<b>資金収支差額(3)=(1)-(2)</b>	<b>581,000</b>	
共同募金全道広域使途助成事業収入	500,000	機器（除雪機）購入助成金
施設整備等収入計(4)	500,000	
固定資産取得支出	690,000	除雪機購入事業
施設整備等支出計(5)	690,000	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△190,000	
積立資産取崩収入	394,000	繰入金
<b>その他の活動収入計(7)</b>	<b>394,000</b>	
積立資産支出	702,000	退職積立・地域福祉基金特別会計繰出金・運用財産・愛情銀行
その他活動支出	63,000	北海道民間社会福祉事業職員共済会
<b>その他の活動支出計(8)</b>	<b>765,000</b>	
<b>その他活動資金収支差額(9)=(7)-(8)</b>	<b>△371,000</b>	
予備費支出(10)	468,746	予備費
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△448,746	
<b>前期末支払資金残高(12)</b>	<b>448,746</b>	
<b>当期末支払資金残高(11)+(12)</b>	<b>0</b>	

# 各団体活動(行事・会議)の様子

増毛町老人クラブ連合会



老人クラブ研修旅行の様子

増毛町すみれ会



新入学児童に手作りマスコットをプレゼントしています

増毛町遺族会



6月5日 護国神社慰霊大祭参拝・研修旅行

増毛町身体障がい者福祉協会



4月17日 総会開催の様子

増毛町ボランティアセンター



5月30・31日えび地酒まつりでの出店



ボランティア指定校助成事業

## ご寄附ありがとうございました

前号以後の増毛町社会福祉協議会に対するご寄附についてお名前をお知らせしあたたかいお志に心より感謝申し上げます。

- ◎増毛総合技能士会様 (社会福祉のために)
- ◎増毛町役場職員組合青年部様 (社会福祉のために)
- ◎平松秀孝様 (葬儀香典の一部)
- ◎池田久美子様 (葬儀香典の一部)
- ◎桂本仁様 (葬儀香典の一部)
- ◎別荘小学校PTA様 (社会福祉のために)
- ◎羽豆イツ様 (葬儀香典の一部)
- ◎佐々木ハルエ様 (葬儀香典の一部)
- ◎関口峰樹様 (葬儀香典の一部)
- ◎蝦名万紀子様 (葬儀香典の一部)
- ◎秋元賢治様 (葬儀香典の一部)

## 赤い羽根共同募金

本年度目標額 **1,150,000円**



今年も10月1日から始まります。

10月1日▶12月31日

各町村での募金額に対して翌年度に配布される(使うことができる)金額が決まります。26年度の増毛町の募金額は1,258,051円でした。皆様の善意は、下記の表のとおりに使われます。皆様のあたたかいご協力をお願いいたします。

平成27年度の配分先	配 分 額	備 考
除雪サービス	275,000	高齢世帯の除雪サービス事業
三世代交流事業	105,000	地域住民の異世代間交流(増毛小・舎熊小・暑寒大学)
ふれあい広場	286,051	ふれあい広場開催経費
社協だより発行	220,000	社協だよりの発行経費
募金経費	80,000	増毛町共同募金事務経費・活動資金
地方共募分担額	15,000	地方共募分担額
地方共募関連事業への助成分担額	40,000	地方共募委員会各福祉団体助成
道地域配分金	237,000	全道地域での配分
合 計	<b>1,258,051</b>	26年度募金合計

## 社協会員募集のお願い

増毛町社会福祉協議会では、毎年町民の皆さまに会員加入のお願いをしています。また、地域における福祉の発展のため、地域で活躍されている団体・事業などにもご協力をお願いしています。

会員加入とは、社協の運営やサービスの参加・協力を金銭面でお願いするものです。皆さまから寄せられた会費は、社協の運営費や福祉サービス事業の財源として使わせていただき、幅広く地域福祉を推進するために活用されています。

**年会費** ◎一般会費(一〇)500円 ◎特別会費(一〇)2,000円 ◎賛助会費 10,000円  
加入について、電話等でご連絡いただければ職員が伺います。

増毛町社会福祉協議会 TEL 53-3600